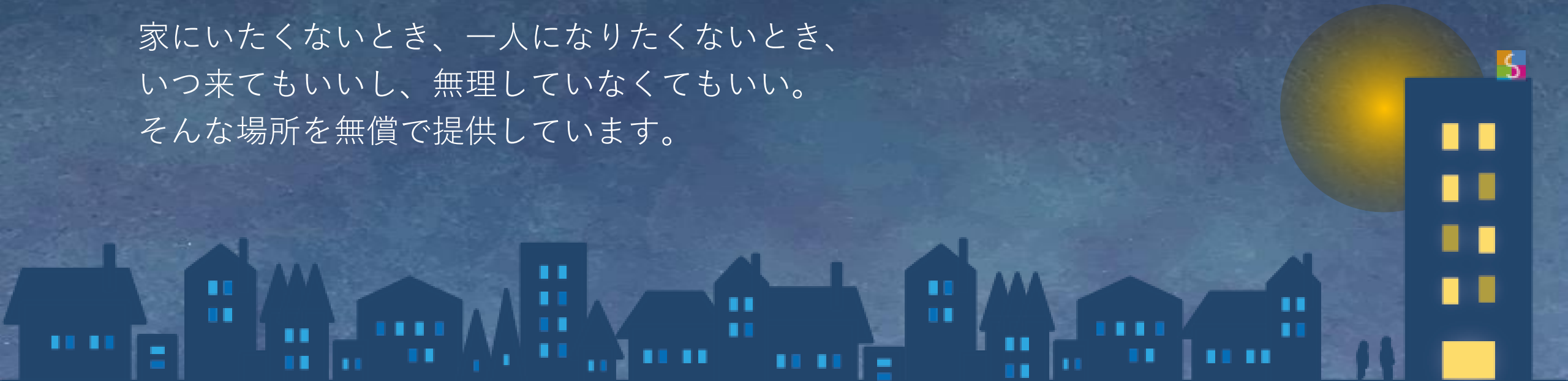


夜の よる の ムースセンター

家にいたくないとき、一人になりたくないとき、
いつ来てもいいし、無理していなくてもいい。
そんな場所を無償で提供しています。





認定特定非営利活動法人

育て上げネット

Vision

めざす社会

すべての若者が社会的所属を獲得し、
働くと**働き続ける**を実現できる社会

Mission

果たすべき使命

若者と社会をつなぐ



Action

おこなっていること

下記以外にも行政・企業と協働し
さまざまな事業をおこなっています

若者支援事業

若者に提供する就労基礎訓練プログラム



教育支援事業



学習支援事業



保護者支援事業



★ 夜のユースセンター

はじめた
きっかけ

「家に帰ると親からアレコレ言われる」
「ひとりになると余計なことを考える」

ギリギリまでいたいという
若者のために**夜の時間にも**
利用できるようにしよう

現場リーダー ● 阿部 渉

実施概要

毎週土曜日18:00～21:00実施

15:00くらいから参加もOK

予約してもしなくてもOK

晩ごはん用の弁当用意
(近隣個店の協力の下)

何をしてもいい・途中帰宅も可

法人支援員からの紹介制

1年間のべ**1,000**人が利用

無料

食事あり・入退場自由

- ① 夕食あります
- ② ゲームあります
- ③ 無料です

毎週土曜日
18:00～21:00

★ 夜のユースセンター

来ているのは
こんな若者

特徴的なタイプを紹介します

下記は一例で、来所している若者像はバラバラです



非行青年

- 元少年院生
- 出院者支援より



ひきこもり

- 昼間は出歩けない
- 保護者支援より



ヤングケアラー

- 幼い弟妹の世話で忙しい
- 高校支援より



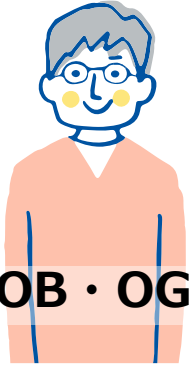
ネグレクト

- ひとり親世帯
- 母はほとんど家にいない
- 不登校支援より



困窮者

- 無職で困窮
- 自治体の生活困窮窓口より



OB・OG

- 法人支援の卒業生
- 現在は就労中

★ 夜^{よる}のユースセンター

非行青年

● 振込詐欺の受け子で少年院へ

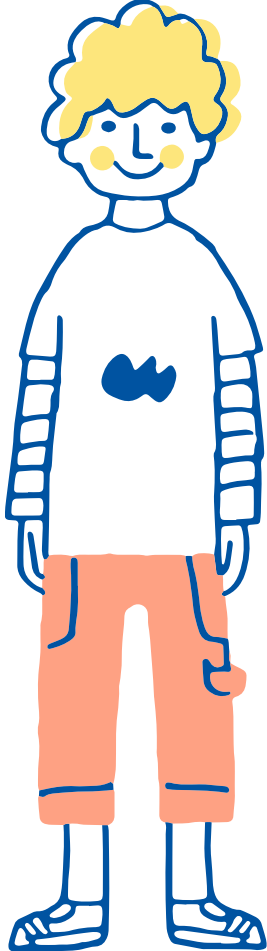
地元の先輩から脅されてイヤイヤながら振込詐欺に加担
少年院で10カ月過ごした

● 出院者支援よりつながる

当法人の行う「少年院出院者支援」に参加
悪い仲間とのつながりがなかなか切れない

● 怖い先輩のいる繁華街には行きたくない

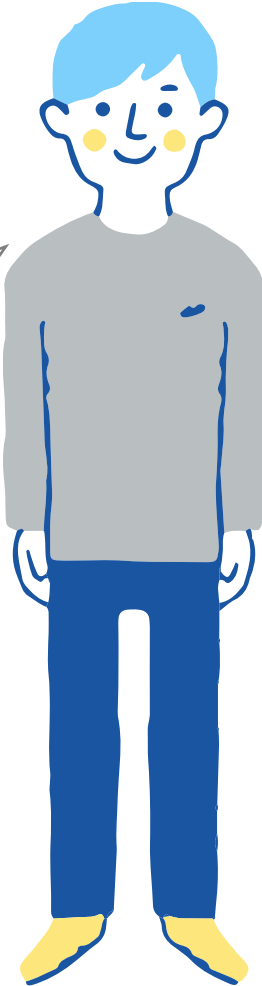
夜、家にいたくなくて、繁華街の路上へ行くが
怖い先輩たちに出会うのもイヤだ



学校にろくに
行ってないから
ここで仲間と
ダベるのが
楽しい

★ 夜のユースセンター

一人でひたすら
ゲームをやってても
みんなフツウに
接してくれるのが
うれしい



ひきこもり

● 大学中退からひきこもる生活へ

就職活動に乗り切れず、大学不登校になる
ゼミ論が書けないまま留年し、最終的に中退

● 保護者支援よりつながる

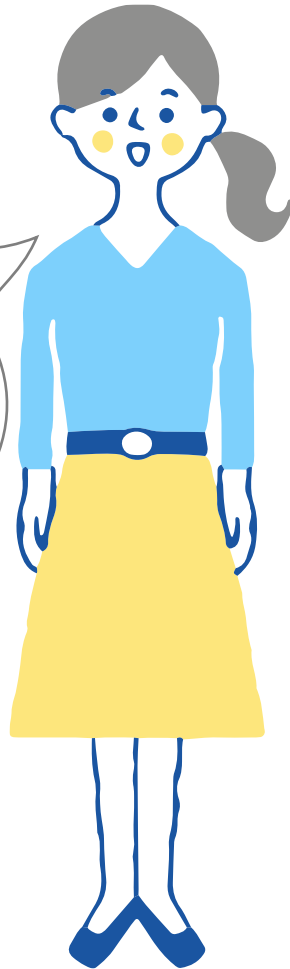
母親が心配し、当法人の行う「保護者支援」に参加
本人への働きかけを行っているがなかなか成果が出なかった

● 家族が団らんする土曜日の夜はつらい

“働いている同世代”に会いたくないので昼間は家から出られない
社会人の弟が家でくつろぐ土曜日の夜がもっともつらい

★ 夜のユースセンター

毎週ここで
おしゃべりするのが
すっごく楽しみ
弟と妹のごはんも
もらって帰れる



ヤングケアラー

● 幼い弟妹の面倒を見る通信制高校生

父親のちがう小学校低学年の弟、保育園の妹の世話をしている
平日は妹の送迎、弟妹の世話、家事で忙しい

● 高校支援よりつながる

当法人運営の「高校生進路支援」で「とにかく時間がない」と相談
保護者と面談し、土曜日の3時間だけ開放される時間をつくる

● 同世代と話したいが機会がなかった

「普通の高校生活」を送りたかったが、通信制のため
同世代と触れ合う時間がない

★ 夜のユースセンター

誰かと食べる
晩ごはんは
おいしく感じる
一人ぼっちなので
家に帰りたくない

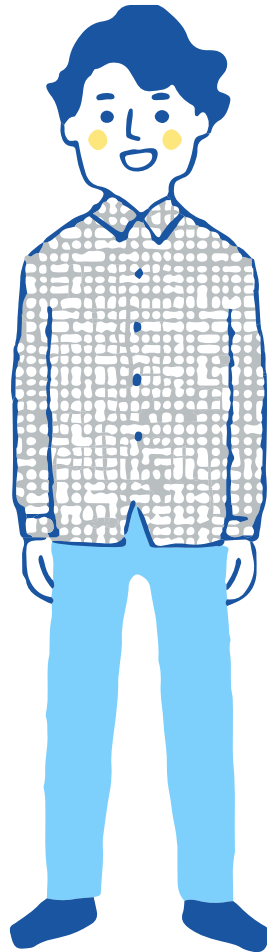


ネグレクト

- **ひとり親世帯だが母はほとんど帰ってこない**
母と二人暮らし 母は生活費を置きに帰るくらいでいつもひとり生活費が足りなくなるときもあるが母には言えない
- **不登校支援よりつながる**
当法人運営の「生活保護世帯への学習支援」に参加
定時制高校に合格 ケースワーカーと協働し当法人支援に参加
- **1日3食、ほぼひとりで食べる**
15歳でひとり暮らしのような生活を送っている
家に帰ってもひとりなのでなかなか帰りたがらない

★ 夜^{よる}のユースセンター

晩ごはんが
1食浮くだけで
ありがたいのに
食料や生活用品も
もらえるので
助かる



困窮者

● うつ病になり退職 失業手当も切れた

過労からうつ病になり退職後、失業手当と貯金で生活
失業手当が切れ、貯金を食いつぶしている

● 自治体の生活困窮窓口よりつながる

当法人運営の「生活困窮者のための居場所」に参加
居場所が開設していないときはたいてい図書館にいる

● 公共機関は夜はいられない

光熱費を浮かすために公共機関を利用しているが夜は閉館
無料でいられる家以外の場所がほしい

★ 夜のユースセンター



あなごころにいた
支援員に会って
近況を話したり
グチを聞いて
もらったり…

OB・OG

● 当法人支援の卒業生（現在は就労中）

当法人の「若者支援事業」に参加
就労後卒業となり、しばらく当法人とは遠ざかっていた

● 社会人としてのグチを誰かに言いたい

就労した会社のことやちょっとしたグチを軽く話すところがない
職場と自宅の往復だけで毎日が過ぎて行ってしまう
当法人で世話になった支援員にグチを聞いてもらいたい

★ 夜のユースセンター

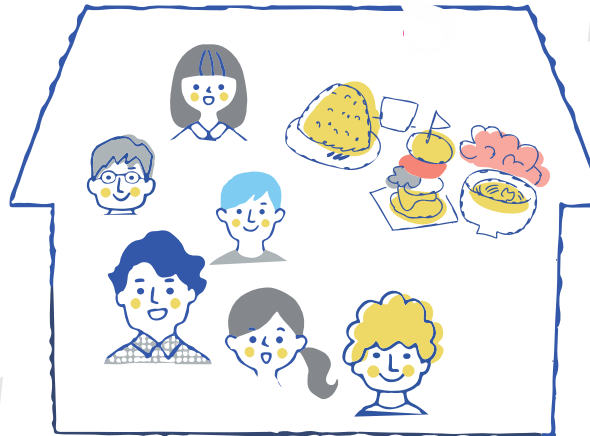
はじめて
わかったこと

安心できる 夜の居場所がある

お腹をすかせている
家族分の弁当を持ち帰る若者も

家にいたくない
家にいられない
ひきこもり DV ネグレクト 非行
夜間に自宅でひとり

公共機関は
早く閉館する
お金をかけず、夜、外にいられる場所がない
仕方なく繁華街の路上に行く若者も



支援・被支援の関係が
曖昧な場所を求めている
“支援されたい”わけではない

毎週継続して会うことで
本人の変化 (SOSのサイン) に
すばやく気づける

★ 夜のミュージアムセンター

継続型のクラウドファンディング

孤独な夜を照らす光を



最初に設定した寄付額を毎月引き落としさせていただきます。

この場所が**“いつでもそこにあるもの”**として
継続できるようみなさまの力をお貸してください。

私たちと一緒に
夜の居場所を
作っていきませんか？



理事長 ● 工藤啓